

- 問1 603年から607年ごろの飛鳥時代において、国内の政治体制を整えるために行われた政策と、同時期の対外政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用する冠位十二階を定め、小野妹子を遣隋使として派遣した。

2. 役人の心得を示す十七条の憲法を制定し、中臣鎌足とともに唐の文化を取り入れるための遣唐使を派遣した。

3. 土地と人民を国家が管理する公地公民を確立し、隋の皇帝から日本の王としての地位を認める金印を授かった。

4. 仏教を弾圧しようとする勢力を抑えるために大仏を造立し、朝鮮半島へ軍隊を派遣して白村江の戦いに臨んだ。
- 問2 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、倭国（日本）の政権は、大陸からの侵攻を非常に強く警戒するようになりました。そのための防衛対策として、九州地方を中心に実施された内容として正しいものはどれですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 元軍の再来に備えて、博多湾の沿岸に石築地（元寇防壁）を築いた

2. 東北地方の蝦夷（えみし）を制圧するために、多賀城を築き鎮守府を置いた

3. 大宰府の北側に水城（みづき）を築き、沿岸部に防人（さきもり）を配置した

4. 白河上皇が北面の武士を組織し、御所の警備と寺社の強訴を防いだ
- 問3 7世紀の飛鳥時代、日本（倭）は百済の復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江の戦いにおいてある2つの国の連合軍に大敗しました。この時、日本が対戦した連合軍の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 宋と新羅

2. 元と高麗

3. 唐と新羅

4. 隋と高句麗
- 問4 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が仏教や儒教の教えを取り入れ、役人としての心得を説くために制定した、日本最初の成文法を何といいいますか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 御成敗式目

2. 武家諸法度

3. 十七条の憲法

4. 大宝律令
- 問5 663年の白村江の戦いにおいて唐・新羅の連合軍に大敗したのち、倭（日本）は国家存亡の危機に直面しました。この事態を受けて即位した天武天皇が、天皇を中心とする中央集権体制を確立するために、人々の氏姓を整理し、全国規模で初めて作成した戸籍を何と呼びますか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 庚午年籍

2. 班田収授法

3. 墾田永年私財法

4. 庚寅年籍
- 問6 飛鳥時代から奈良時代にかけての歴史的な出来事をまとめた記録において、日本は遣隋使や遣唐使といった使節を繰り返し中国へ派遣していました。このような使節が派遣された主な目的として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. キリスト教や鉄砲といったヨーロッパの新しい技術を中国経由で導入するため

2. 中国の優れた統治システムや文化を学び、日本国内の政治体制を整えるため

3. 中国の軍事的な援助を受けて、朝鮮半島の諸国を武力で制圧するため

4. 中国の皇帝から日本の王としての地位を認めてもらい、朝貢貿易を独占するため
- 問7 壬申の乱に勝利して即位し、律令に基づく天皇中心の国づくりを強力に進めた人物は誰ですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 天武天皇

2. 桓武天皇

3. 聖武天皇

4. 推古天皇
- 問8 大化の改新を中心となって進めた中大兄皇子は、後に天智天皇として即位し、国内の統治をより強固にするための政策を行いました。その一環として、670年に日本で初めて全国規模で作成された戸籍の名称を選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 班田収授法

2. 大宝律令

3. 庚寅年籍

4. 庚午年籍
- 問9 聖徳太子が定めた冠位十二階について、この制度が目指した内容を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。

2. 地方の豪族を「国司」として任命し、土地と人民を直接支配させた。

3. 一度授けられた位は子孫に受け継がれることを原則とした。

4. 全ての国民を戸籍に登録し、口分田を割り当てるための基準とした。
- 問10 聖徳太子が十七条の憲法を制定したり、法隆寺を建立して仏教を保護したりした政治的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 海外との貿易を独占し、金や銀などの貴重な資源を幕府の財源とするため

2. 豪族たちが争う状況を改め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため

3. 武士の台頭を抑え、地方の政治を国司ではなく貴族に任せる仕組みを作るため

4. 厳しい身分制度を廃止し、一般の民衆が自由に政治に参加できる環境を作るため
- 問11 日本の歴史における時代区分と出来事の前後関係について説明した文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。

2. 飛鳥時代にフビライ・ハンが来ると、その後、室町時代に平清盛が太政大臣に就任した。

3. 鎌倉時代に平清盛が幕府を開き、その後、安土桃山時代にフビライ・ハンによる元寇が起こった。

4. 奈良時代に豊臣秀吉が太閤検地を行い、その後、安土桃山時代に平清盛が政権を握った。
- 問12 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が定めた「冠位十二階」の目的として、当時の政治状況を踏まえた最も適切な説明はどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
1. 家柄にとらわれず、個人の才能や功績のある人物を役人として登用するため。

2. 有力な豪族の特権を認め、その地位を子孫が代々受け継ぐ世襲制を維持するため。

3. 仏教を国家の宗教として広めるために、僧侶に対して特別な位を授けるため。

4. 十七条の憲法の内容を具体化し、地方を治める役人の行動指針を定めるため
- 問13 672年に発生した古代日本最大の内乱である「壬申の乱」は、どのような状況下で起こった出来事ですか。その背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 大化の改新を進める中大兄皇子に対して、旧勢力の貴族たちが一斉に反旗を翻した。

2. 天智天皇の死後、その跡継ぎとなる皇位継承をめぐる、天皇の弟と子の間で争いが起きた。

3. 聖徳太子の死後、蘇我氏が政治の実権を握り、独裁的な政治を行ったことに不満が募った。

4. 唐と新羅の連合軍に敗れた後、国防体制の整備をめぐる朝廷内が二つの勢力に分かれた。